

令和6年12月25日

公益財団法人 建築技術教育普及センター

令和6年一級建築士試験「設計製図の試験」 標準解答例の公表について

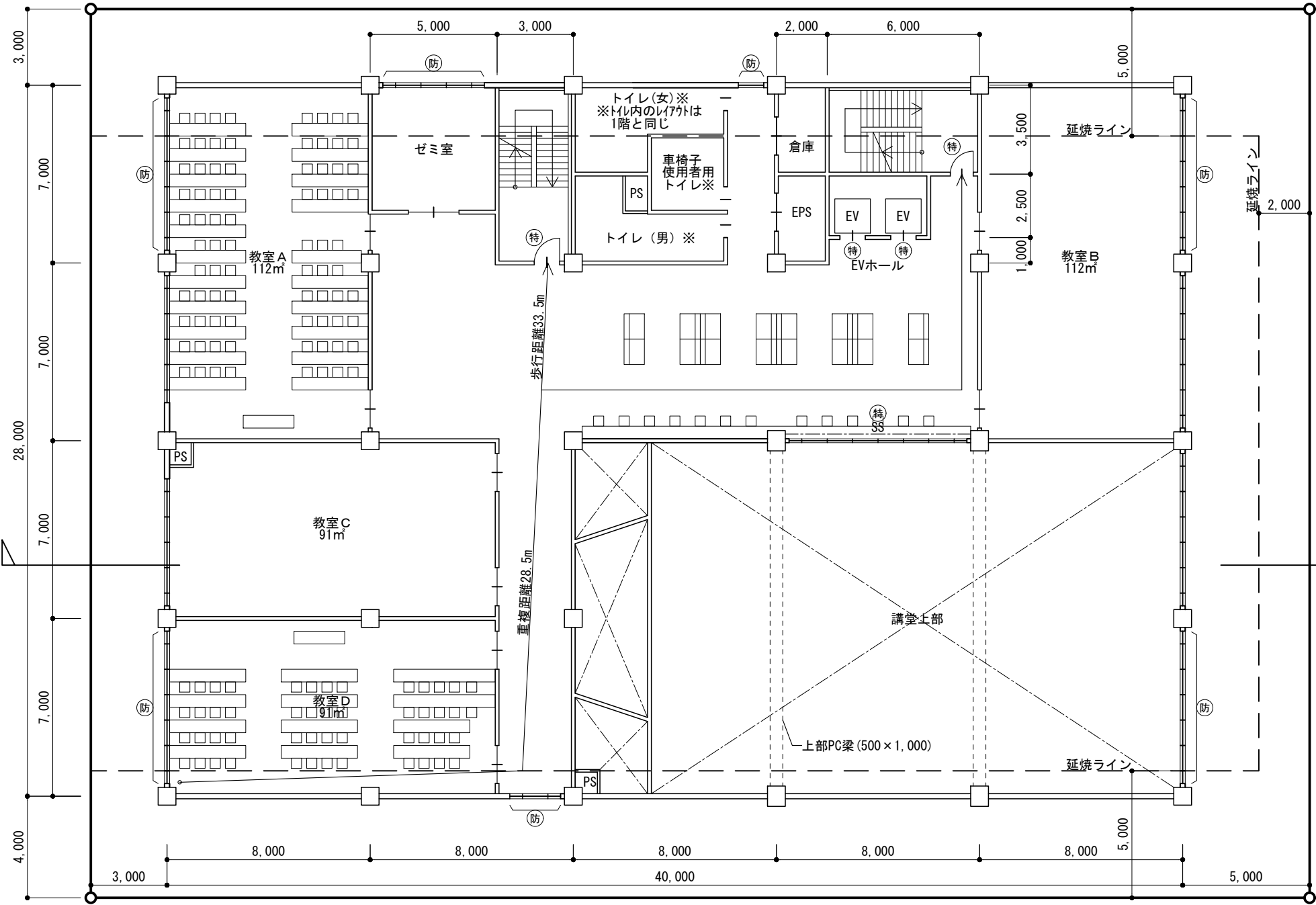
令和6年10月13日(日)に実施された標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

一級建築士試験は、建築士法第13条及び第15条の2の規定に基づいて、国土交通大臣の指定試験機関である当センター（理事長 井上 勝徳）が実施しています。

記

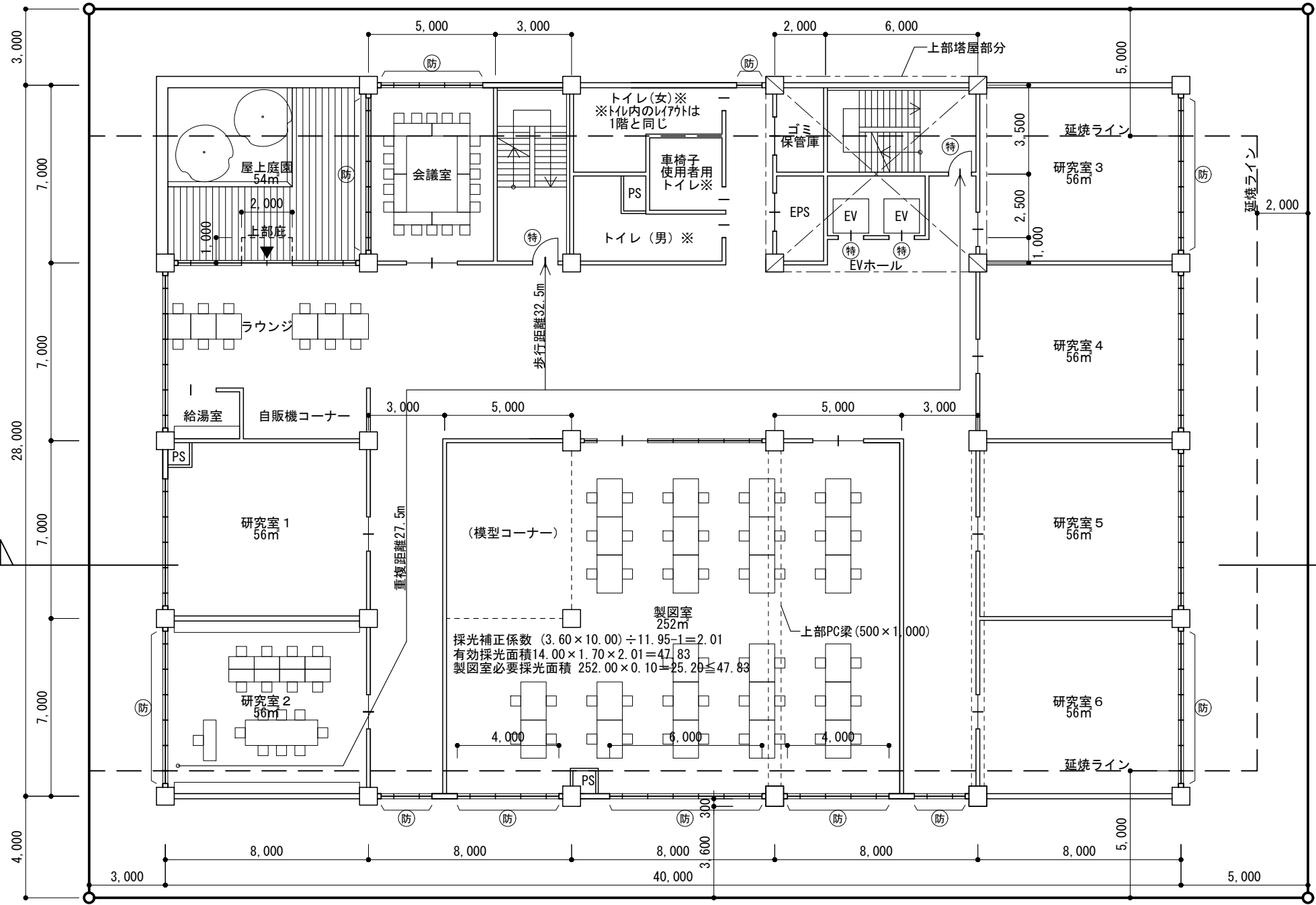
1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、インターネット上の当センターのウェブサイト（URL <https://www.jaeic.or.jp/>）に掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

2階平面図 縮尺1/200



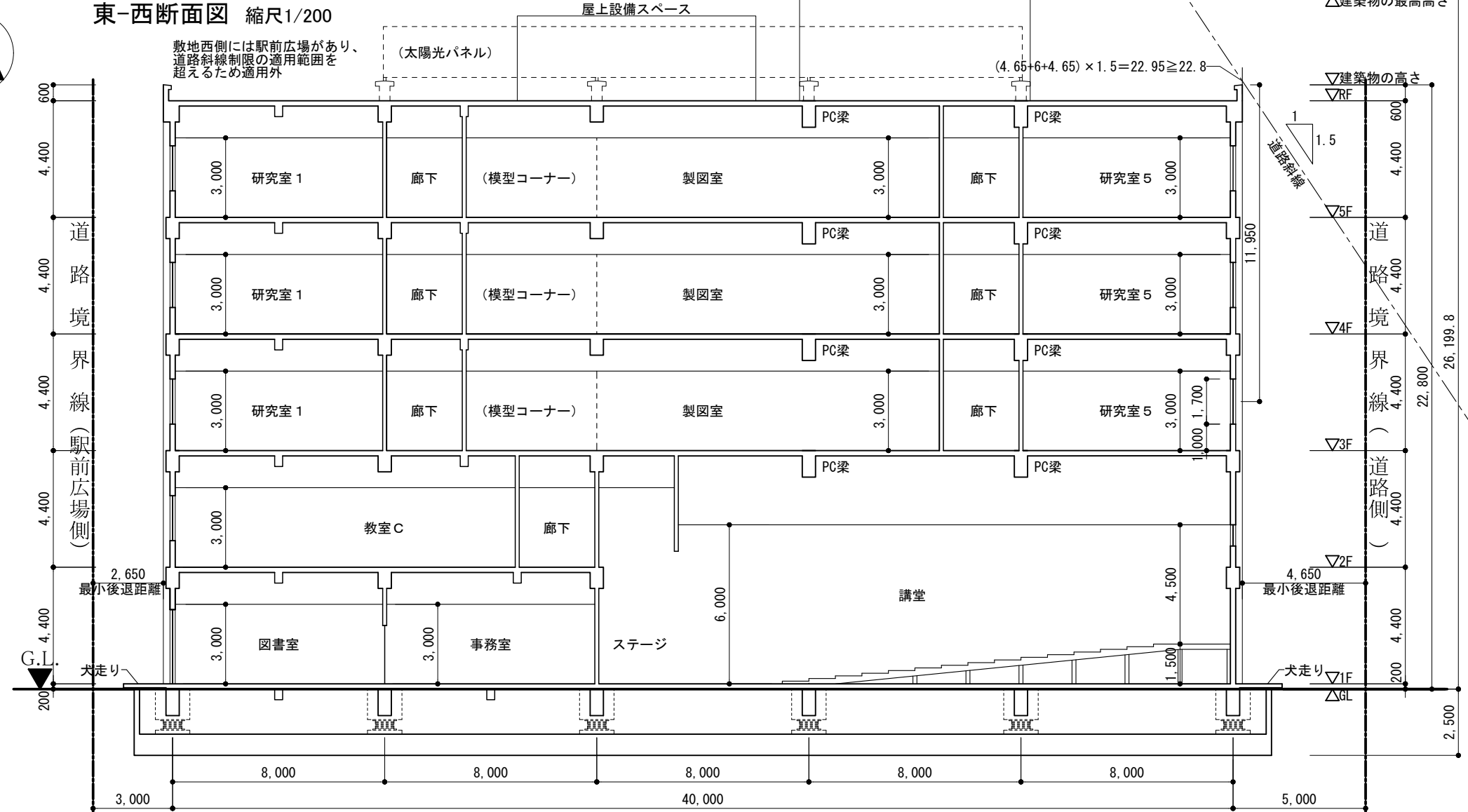
個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

基準階平面図（3階平面図を記入する。） 縮尺1/200



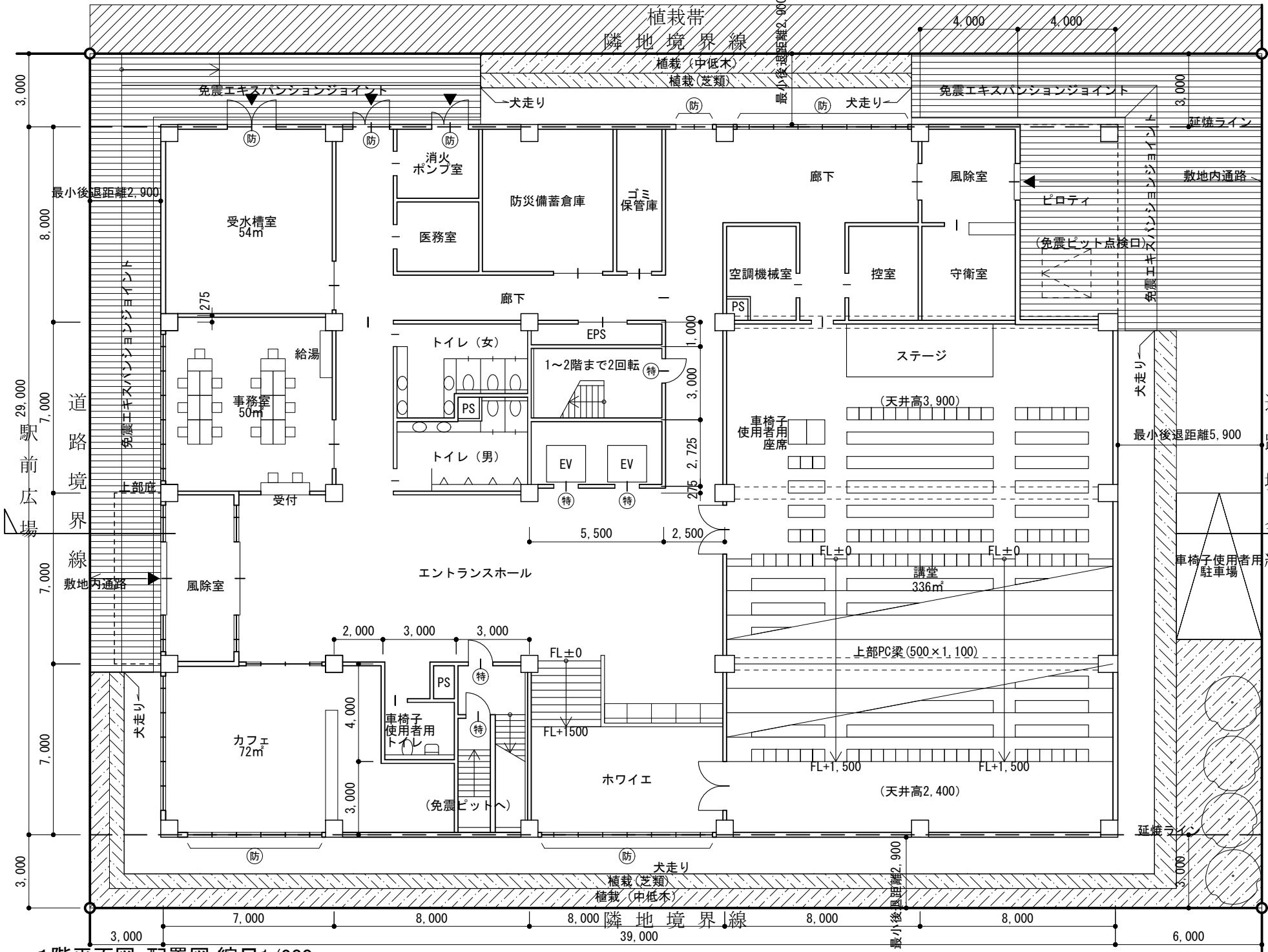
真北

東-西断面図 縮尺1/200



凡例	耐火構造の壁、柱、床、及び梁	特定防火設備	SS	建築基準法第2条第九号の二に規定する防火設備	標準解答例①	(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)
面積表						
建築面積	40×28=1,120 m ²					
床面積	40×28=1,120 m ²					
2階	40×28-8×7=1,064 m ² × 3層					
1階	40×28-24×14=784 m ²					
製図室の床面積	40×28-2×14-3×4-6×3=1,062 m ²					5,038 m ²
講堂の床面積	18×14=252 m ²					

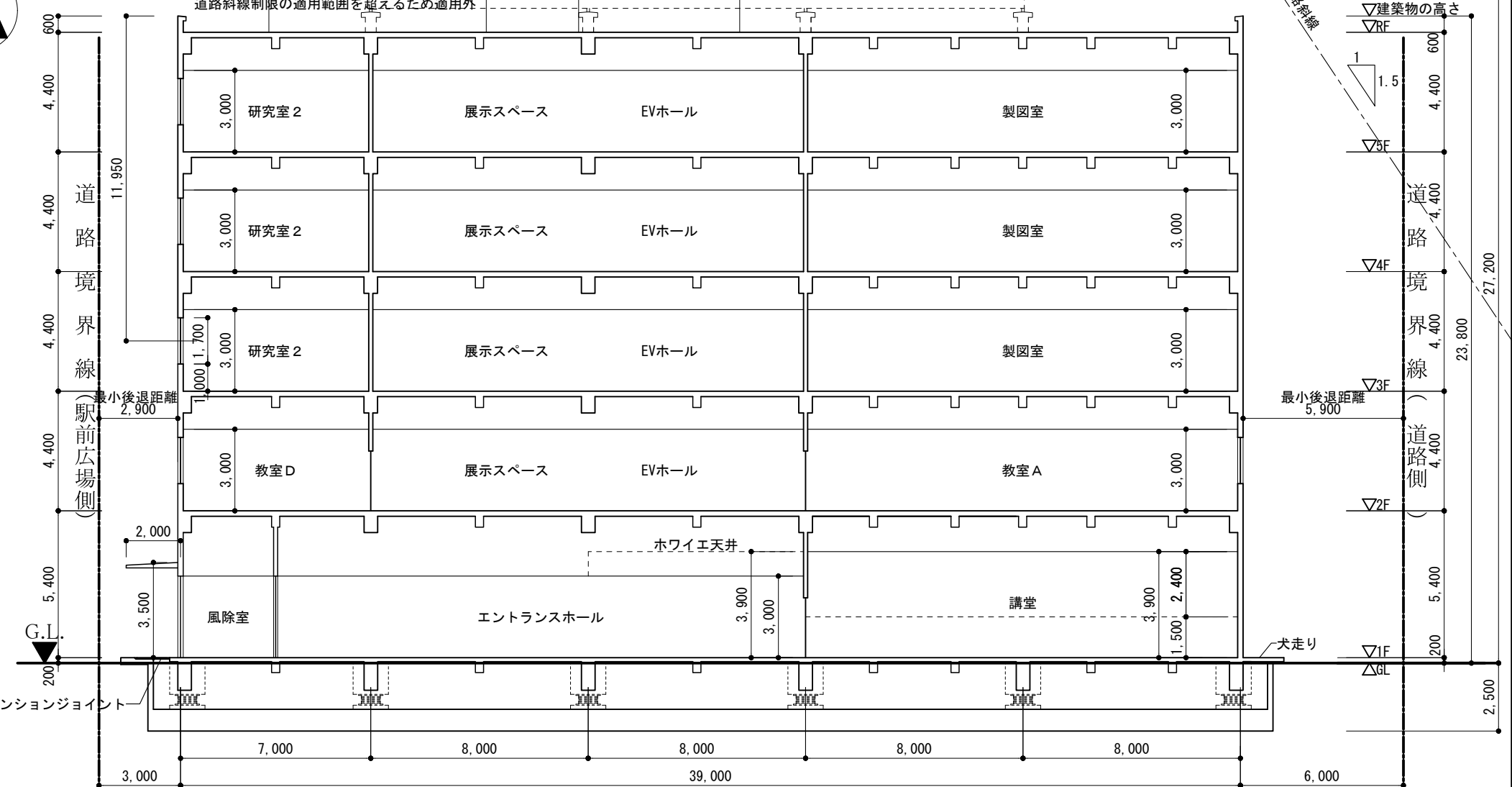
1階平面図・配置図 縮尺1/200

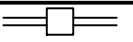
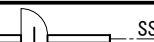
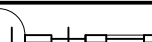


真北



東-西断面図 縮尺1/200



凡例		特定防火設備		建築基準法第2条第九号の口に規定する防火設備		標準解答例② (この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)
	耐火構造の壁、柱、床、及び梁					
面積表				●今後の学習に向けて 以下は設計条件のうち、法令に関する内容の一部を示したものであり、今後の学習の参考として下さい。		
建築面積				【道路高さ制限】 本課題の敷地は、近隣商業地域で、道路高さ制限の斜線勾配は1.5、容積率は400%である。西側駅前広場の道路高さ制限は、建築基準法第56条第1項第一号、第二項、別表第三の規定により、「前面道路の反対側の境界線から計画建築物の最小後退距離に相当する距離だけ外側の線から水平距離20m以下の範囲内において道路高さ制限が適用となるが、道路幅（駅前広場幅）が80mであることから、規制を受けない。（また、同法施行令第130条の12第二号の算定の特例により、西側に設けた庇は、前面道路の路面の中心からの高さが5m以下、開口率1/5以下、前面道路の境界線までの距離が1m以上であることから、建築物の後退距離の算定から除いた。） なお、東側道路高さ制限は、西側道路境界線から35mを超えていることから、同法施行令第132条第3項により、道路幅員を6mとして算定した。		
床	基準階	(算定式及び合計) 39×29+1×7=1,138	m ²	3 層	床面積の合計	
	2 階	(算定式及び合計) 39×29+7×8=1,075	m ²			
面積	1 階	(算定式及び合計) 39×29=1,131	m ²			
		(算定式及び合計) 39×29+4×8=1,099	m ²	5,455	m ²	
製図室の床面積				【採光】 製図室、研究室及び教室には床面積の1/10以上の採光に有効な面積が必要である。この計画では、東面・西面は窓の設けられた外壁面から道路の反対側の境界線までの距離が4m以上であることから、採光補正係数を1として採光計算を行った。 また、南面は窓の設けられた外壁面から隣地までの距離が4m未満であったが、計算式（図中の計算式参照）より採光に有効な面積の確認を行った。		
講堂の床面積						
(算定式及び合計) 16×17=272				m ²	3 層 = 816	≥ 700m ²
(算定式及び合計) 16×21=336				m ²		